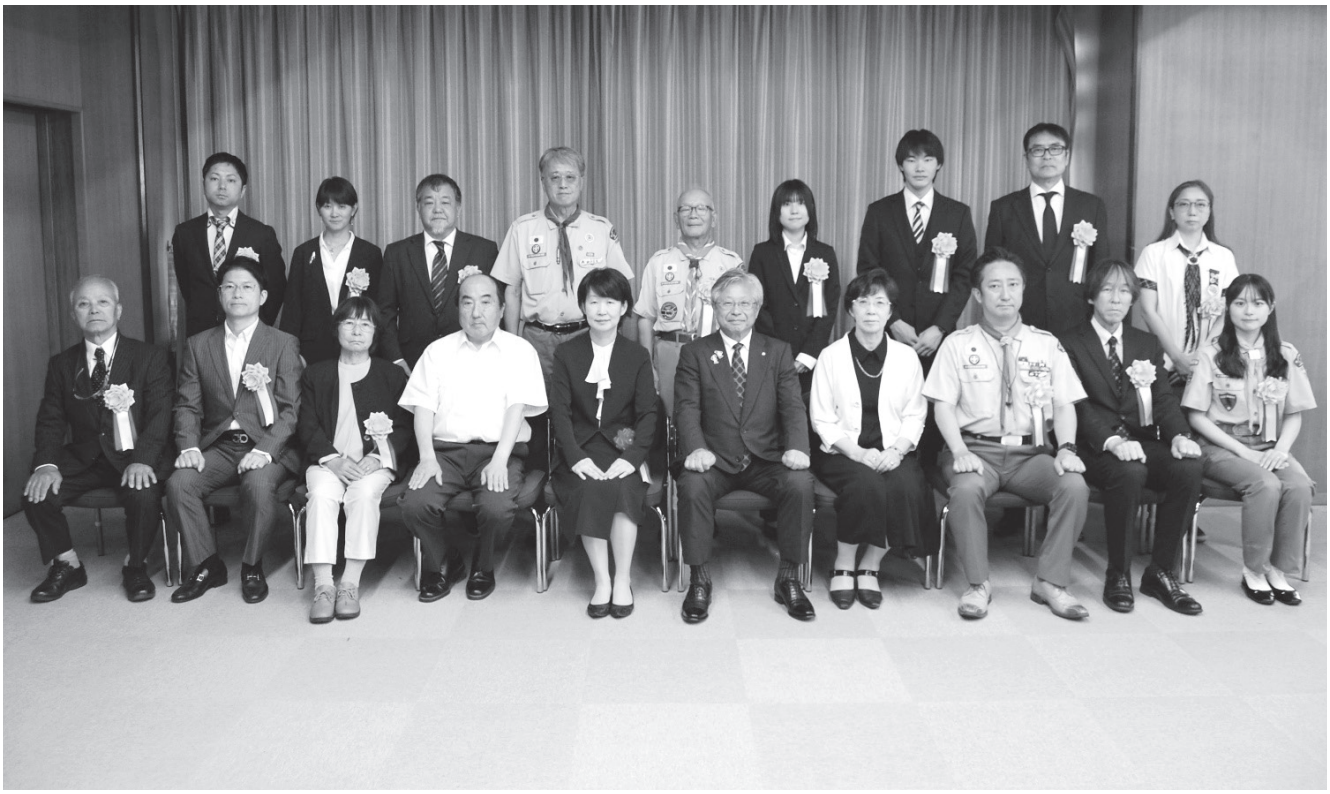
愛知県青少年育成県民会議だより

Next Generation

次代

第162号　2026.10



第57回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等表彰受賞者の皆様

CONTENTS

表紙／第57回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等表彰受賞者 … 1
第57回愛知県青少年育成県民会議表彰受賞者一覧 …… 2
「私の意見」～支えられる側から支える立場へ～ …… 3
令和８年度「少年の主張」愛知県大会が開催されました …… 4
令和８年度「少年の主張」愛知県大会「最優秀賞」作品紹介 … 5
「青少年の被害・非行防止に取り組む県民運動(夏期)」を実施しました … 6
11月は「子ども・若者育成支援県民運動」の強調月間です …… 6
第65回「青少年によい本をすすめる県民運動」…… 7
令和８年度ボランティア活動功労者表彰受賞者一覧 …… 8
「みんなのネットモラル塾」を開講しています …… 8
子ども・若者未来会議を開催します …… 8



愛知県青少年育成推進キャラクター
「ゆうりぃ」

第57回愛知県青少年育成県民会議青少年団体等表彰受賞者一覧

県民会議では、毎年県内において青少年の健全育成に多大なる貢献をされた個人・団体を表彰しており、６月８日(月)に愛知県自治センターで開催された令和８年度愛知県青少年育成県民会議総会において、個人の部：９名、団体の部：８団体を表彰しました。

日頃の活動に改めて感謝申し上げるとともに、今後もそれぞれの地域、立場での一層の御活躍を期待します。

■個人の部(青少年)

（敬称略）

氏　名	住　所	所　属　団　体
福井　亜弥	名古屋市緑区	一般社団法人日本ボーイスカウト愛知連盟
計１名		

■個人の部(青少年育成者)

氏　名	住　所	所　属　団　体
木村　健太	江南市	江南市スポーツ少年団
澤　　朋宏	名古屋市千種区	一般社団法人日本ボーイスカウト愛知連盟
田邉　春枝	一宮市	愛知県青少年育成アドバイザー連絡協議会
服部　　裕	豊明市	愛知県子ども会連絡協議会
平井　治明	名古屋市西区	中日こども会
村瀬　邦之	名古屋市昭和区	昭和区子ども会育成連絡協議会
山口　宏美	安城市	ガールスカウト愛知県第96団
山下　一平	春日井市	春日井市子ども会育成連絡協議会
計８名		

■団体の部(青少年団体)

団　体　名	所　在　地
愛知医療学院大学・愛知医療学院短期大学　パラスポーツ部	清須市
中京大学　文化会　児童福祉活動部　ちるどれん	豊田市
日本ボーイスカウト愛知連盟名古屋第91団	尾張旭市
日本ボーイスカウト愛知連盟東浦第１団	東浦町
計４団体	

■団体の部(青少年育成団体)

団　体　名	所　在　地
小牧中学校区青少年健全育成会	小牧市
ちたビジョンプロジェクト	知多市
名古屋市立浄心中学校PTA	名古屋市西区
日進市竹の山学区家庭教育推進委員会	日進市
計４団体	

私の意見～支えられる側から支える立場へ～

一般社団法人　日本ボーイスカウト愛知連盟　福井　亜弥

■ ボーイスカウトについて ■



ボーイスカウトは野外活動を中心とした各種プログラムを通じ、青少年が知識や技能を身につけて自主性や協調性を育み、人や社会のため、地球のために行動できる人材を育て社会に送り出すことを目指しています。

小学1年生から25歳まで５つの部門が設けられており、各年代に応じた累進的なプログラムがあることが特徴です。

制服を着て街頭募金をしたり、地域のイベントへ参加したりしているボーイスカウトを皆さんも一度は見かけたことがあるのではないでしょうか。

■ 青少年に向けた活動で感じたこと・学んだこと ■

私は小学3年生の時にカブスカウトとして入隊し、最終部門であるローバースカウトとして現在も活動を続けています。

大学生の時に「愛知ローバース会議」という愛知県の大学生年代が所属するコミュニティの代表を２年間務め、その中で韓国のローバースカウトとソウル市内で一緒に植樹をするプログラムに派遣団長として参加しました。言語や文化の壁はあるものの、ボーイスカウトという共通点があるだけでこんなにも一瞬で打ち解けられるのかと驚いたことを覚えています。植樹はもちろん、お互いの国の活動について身振り手振りやつたない英語、韓国語を交えながら紹介したり、緑の募金で集められた寄付金がどのような事に活用されているかを学んだりすることができました。



〈ガールスカウトと植樹する様子〉

活動を通じて、国や文化が違っても同じ目的を持って交流することで互いを理解できることを学びました。

その後、県内で小学生年代のカブスカウトやガールスカウト、他の青少年団体とも植樹をする機会がありました。韓国での経験を活かしてネイチャーゲームの運営や、韓国スカウトとの植樹プログラムの様子を伝える寸劇を実施しました。

自分たちの活動で学んだ植樹や国際交流の経験を後輩に還元する中で、経験を次の世代へつないでいくことの大切さを実感しました。

■ 今後の抱負 ■

今後は、小学３年生から現在に至るまで成長を見守ってくれた自分が所属する団へ恩返しをしていきたいと考えています。

学業や部活動との両立に悩み、退団を考えた時期もありました。しかし、活動のフィールドが地域、県、全国、ひいては世界へと広がっていくことや、自分自身の活動を続けながら後輩や地域社会へ広く貢献できることの楽しさを知り、現在も活動を続けられています。

これまで多くの人に支えてもらった経験を、今度は自分が後輩を支える力へと変えていきたいと思います。自分が得た経験や学びを団の後輩に伝え、青少年が自分らしいペースで活動を続け、成長できる環境づくりに努めることで、よりよい青少年の育成に貢献していきたいと思います。



〈韓国のスカウトからの感謝状授与〉

令和８年度「少年の主張」愛知県大会が開催されました

愛知県・愛知県青少年育成県民会議・独立行政法人国立青少年教育振興機構が主催し、愛知県教育委員会・幸田町・幸田町教育委員会が共催する「令和８年度少年の主張愛知県大会」が、８月19日（水）に幸田町民会館で開催されました。

県内230校の中学校から、30,947名の応募があり、各地区から選ばれた中学生が日頃からの思いや自分の考えを堂々と力強く発表しました。

発表は、家族・学校生活・現代社会や地域に関する内容などで、いずれも社会や世界、そして未来に向けて前向きな考え方をもち、行動しようとする意欲に溢れていました。

各賞の受賞者は右表のとおりですが、最優秀賞を受賞した森川陽梨さん（豊川市立小坂井中学校３年）が、全国大会の出場候補者に推薦されることになりました。

種　別	題　名	受賞者
最優秀賞 （愛知県知事賞）	言葉の便利さと危うさ	豊川市立小坂井中学校 ３年　森川　陽梨
優秀賞 （愛知県議会議長賞）	世界の架け橋へ	西尾市立鶴城中学校 ３年　中易　小春
優秀賞 （幸田町長賞）	「あんなに拾ったのに」	名古屋市立長良中学校 ２年　船木　さくら
優秀賞 （愛知県教育委員会賞）	祖父の記憶を未来に 繋げるために	幸田町立幸田中学校 ３年　鳥居　和華
優秀賞 （愛知県青少年育成県民会議会長賞）	新しい世界への扉を開く鍵	名古屋市立振甫中学校 １年　ラミチャネ　リカ
共感賞	逃げたあの日が、私の 人生を変えた	愛西市立永和中学校 ３年　加賀　瑛真
奨励賞	好きをしまわない	田原市立田原中学校 ３年　石神　恵都
奨励賞	我喜欢日本	岡崎市立福岡中学校 ３年　江尻　優花
奨励賞	私は「あおば」	豊田市立竜神中学校 ３年　蟹　葵葉
奨励賞	なりたい自分になるために	新城市立鳳来中学校 ３年　日下　夏生
奨励賞	普通	半田市立半田中学校 ２年　新美　杏穏
奨励賞	「羨ましい」が変わるとき ～私もまた当事者だった～	豊明市立沓掛中学校 ３年　平井　杏
奨励賞	笑顔を拾う	豊田市立松平中学校 ３年　古川　心絆
奨励賞	森と共に生きる	岡崎市立六ツ美中学校 ３年　森　美沙希

＊「共感賞」は、開催地幸田町の中学生から選ばれた６名がジュニア選考委員となり、最も共感できる作品を選出しました。

＊発表者全員に、「奨励賞」（愛知県青少年育成県民会議会長賞）が贈られました。



〈発表者の皆さん〉



〈ジュニア選考委員の皆さん〉

令和８年度「少年の主張」愛知県大会「最優秀賞」作品紹介

言葉の便利さと危うさ

豊川市立小坂井中学校　３年　森川　陽梨



「やばい」

私は以前、このたった三文字の言葉で友達を傷つけてしまったことがある。

今では日常生活やSNSで当たり前のように使われてる「やばい」。便利で使いやすい言葉だ。しかし、私はある出来事をきっかけに、その便利さの裏に隠れた危うさを知った。そして今、「やばい」で終わらせるのではなく、その奥にある言葉を探すことが大切ではないかと考えている。

ある日の放課後、友達が一枚の絵を見せてくれた。聞けば、何日もかけて書いた作品だという。背景には細かな模様が描きこまれ、光の当たり方まで丁寧に表現されていた。色使いも美しく、ひとめ見てどれだけ時間をかけたのかが分かった。私は感動して、

「やばいね。」

と言った。すると友達は少し黙り込む。そして小さな声で言った。

「それ、どういう意味。」

私は答えた。

「え、すごいっていう意味だけど。」

すると、友達は少し寂しそうに笑った。

「そっか。でも、私には、あまりいい意味には聞こえなかった。」

その瞬間、私は何も言えなかった。せっかく褒めたつもりだったのに、なぜだろう。

帰り道、友達の表情が頭から離れなかった。会話を思い出すと、あることに気づいた。私は感動したのに、感動したとは言っていなかった。色使いに驚いたのに、色使いがきれいだとも言っていなかった。私は、自分の気持ちを伝えたつもりになっていただけで、本当に伝えたい思いを言葉にしていなかったのだ。

後日、友達はこう話してくれた。

「その絵は自信作だったんだ、ちゃんと見てもらいたかった。」

私はその言葉にはっとした。友達が求めていたのは賞賛ではない。自分の努力や時間をかけて描いた理由を受け止めてもらえたという実感だったのだ。しかし、私は「やばい」という一言に頼り、その思いに応えることはなかった。

「やばい」という言葉は、便利ですぐ気持ちを共有できる。その一方で、良い意味なのか、悪い意味なのか、わかりにくいという危うさもあるのではないか。実際に私たちは、互いに思いを伝えているつもりでも、伝わっていなかったり、誤解を与えたりしてしまうことがよくあった。

これは私と友達だけの問題ではない。現代の私たち全体に関わる問題なのかもしれない。考えてみると、私たちの周りには便利な言葉があふれている。楽しいときも、感動した時も「やばい」。悲しいときでさえ「やばい」。一つの言葉で様々な感情を表現できる。特にSNSでは、短いコメントや「いいね」だけで気持ちを伝えたつもりになれる。しかし、その便利さに慣れすぎると、自分が本当は何を感じているのかを考えなくなってしまうのではないか。うまく言葉にできない気持ちの中には、もっと細かい感情があるはずだ。

私たちは便利な言葉を使う自由をもっている。しかし、同時に、自分の思いを相手に届く形で伝える責任をもっている。短い言葉で完結できる現代だからこそ、本当に伝えたい気持ちまで省略してはいけない。すぐに言葉にできなくても、自分の中にある気持ちをそのまま流そうとせず、少しずつ言葉にしていこうとすることに意味があるのだと思う。

「やばい」の奥には、きっとひとりひとり違う思いが隠れている。私はこれから、その思いを見つけ、自分の言葉で伝えられる人でいられるだろうか。相手の言葉の奥にある思いにも耳を傾けられる、そんな自分になれるだろうか。便利な言葉に流されるのではなく、その奥にある本当の気持ちを言葉にする。そんな自分になれるよう私は、今日も言葉を探し続けている。

「青少年の被害・非行防止に取り組む県民運動(夏期)」を実施しました
～「非行の芽 はやめにつもう みな我が子」～

県民会議では、県、県教育委員会、県警察本部と共催で７・８月の２か月間、「青少年の被害・非行防止に取り組む県民運動(夏期)」を行いました。

青少年を取り巻くインターネット利用環境が一層多様化する中、SNSやオンラインゲームを通じて面識のない相手と知り合い、性犯罪等の被害に遭った児童数は高水準で推移しています。

また、それぞれに事情や問題を抱えた青少年が、SNS等を通じて出会った者と繁華街に集まり、犯罪被害に遭うリスクを十分認識しないまま被害に遭っています。

そこで、自治体、関係団体等が相互に協力しながら、地域一体となった青少年の被害・非行の防止のための各種取組を実施しました。

【運動の重点項目等】

◎　最重点項目	インターネット利用におけるこどもの性被害等の防止
○　重 点 項 目	有害環境への適切な対応 薬物乱用対策の推進 不良行為及び初発型非行等の防止 重大ないじめ・暴力行為等の問題行動及びその被害への対応 再非行(犯罪)の防止

【運動結果】

各機関・団体では、広報や青少年に対する講話などを中心とした活動を実施しました。

[主な取組]

・愛知県青少年保護育成条例の改正内容の周知と自画撮り被害防止に関する啓発活動の実施
・深夜営業施設等への立入調査の実施
・FM AICHI「AICHI SATURDAY TOPICS」における被害防止広報の実施
・各市町村窓口におけるチラシ、のぼり等での被害・非行防止広報の実施

11月は「子ども・若者育成支援県民運動」の強調月間です

ひきこもりや不登校、若年無業者、貧困などの社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者の問題や、少年非行、いじめ、児童虐待、児童ポルノや児童買春を始め子どもが被害者となる事件など、社会全体で取り組まなければならない課題が山積しています。

県民会議では、こども家庭庁がこどもや子育て世代を社会全体で支える機運を醸成すべく「秋のこどもまんなか月間」としたことに合わせ、県とともに毎年11月を「子ども・若者育成支援県民運動」の強調月間と定め、各関係機関、団体により、広報啓発活動や各種事業等を集中的に実施し、子ども・若者の健やかな育成や自立への支援を呼びかけます。「はぐくもう 自分らしく生きる子 愛知の子」をスローガンに、子ども・若者を取り巻く環境を、大人自身が再度見直し、子ども・若者を地域全体で育成し、自立を促すための支援のネットワークの輪を広げていきましょう。

第65回「青少年によい本をすすめる県民運動」
～はがきによる読書感想文・感想画を募集しています～

青少年が「優れた本(よい本)」を読み、心の糧とすることは、青少年の想像力、社会性を養うとともに、豊かな人間性を培う上で大きな役割を果たすものです。

県民会議では、読書を通じて青少年の健全育成を図るため、毎年10月の強調月間を中心として、「青少年によい本をすすめる県民運動」に取り組んでおり、今年度で65回目となります。

青少年が本に親しみ、読書習慣をつくる契機となるよう、読書感想文･感想画を以下のとおり募集します。

●応募方法　下記の募集図書16冊の中から好きな図書を１冊読み、読書感想文･感想画をはがきにかいて、郵便番号、住所、氏名、学校名・学年又は職業・年齢を明記の上、お送りください。
●応募資格　県内在住又は県内に通学・通勤している方
●応募期限　2026年11月４日(水)【必着】
●応 募 先　〒460-8501　(住所記載不要) 愛知県社会活動推進課内　愛知県青少年育成県民会議事務局

読書感想文・感想画募集図書一覧

作品名	著者名／訳者名	出版社	本体価格
幼児向け			
100ぴきかぞく　すいぞくかんへいく	さく　古沢たつお	大日本図書	¥1,400
だるまさん　あっぷっぷ！	文　長野ヒデ子　絵　つちだのぶこ	あすなろ書房	¥900
またまた　ねえ、どれがいい？	さく　ジョン・バーニンガム　やく　まつかわまゆみ	評論社	¥1,500
小学校低学年向け			
ひまりとふしぎなあの子	作　深山さくら　絵　北沢優子	岩崎書店	¥1,200
いのちをまもるじゅういのしごと① どうぶつ園のじゅういの一日	監修　東武動物公園	小峰書店	¥2,700
幽霊屋敷レストラン	責任編集　松谷みよ子　絵　たかいよしかず	童心社	¥600
小学校中学年向け			
たい焼き総選挙	作　新井けいこ　絵　いちろう	あかね書房	¥1,300
脳とココロを科学する ニンゲン探Qファイル 01ニンゲンは見た目にこだわる!?	企画・監修　チョン・ジェスン 文　チョン・ジェウン、イ・ゴウン 絵　キム・ヒョンミン	フレーベル館	¥1,270
ふしぎの時間割	作・絵　岡田淳	偕成社	¥1,200
小学校高学年向け			
もしも明日、ぼくの足がなくなったら	著　舟崎泉美	Gakken	¥1,300
ラッキーボトル号の冒険	作　クリス・ウォーメル　訳　柳井薫	徳間書店	¥2,000
昔話法廷	編　NHK　Eテレ「昔話法廷」制作班 原作　今井雅子　法律監修　イマセン 挿画　伊野孝行	金の星社	¥1,300
中学生向け			
Garden　8月9日の父をさがして	作　森越智子	童心社	¥1,800
森と、母と、わたしの一週間	著　八束澄子	ポプラ社	¥1,400
高校生・青年向け			
小説	著　野﨑まど	講談社	¥1,950
僕には鳥の言葉がわかる	著　鈴木俊貴	小学館	¥1,700

令和８年度ボランティア活動功労者表彰受賞者一覧

愛知県では、各分野においてボランティア活動を実践し、顕著な事績を収めた個人又は団体に対し表彰を行っています。今年度は次の方々が受賞され、８月26日(水)に愛知県庁において表彰されました。

受賞者　（敬称略）	主な活動内容
若林　眞由美(愛知県青少年育成アドバイザー連絡協議会)	子育て支援企画の運営
川口　由美(一般社団法人日本ボーイスカウト愛知連盟)	ボーイスカウトの指導及び育成

「みんなのネットモラル塾」を開講しています

子どもたちが安全にインターネットを利用するためには、保護者と子どもの双方が、インターネットに潜む危険性やその対策を理解し、インターネットを適切に利用するための家庭でのルールづくりを行うことが大切です。愛知県では、家庭でのルールづくりを支援する「青少年のネット安全・安心講座～みんなのネットモラル塾～」を2018年度から毎年開催しており、今年度も引き続き開講しています。

■講座の内容

・子どもたちが巻き込まれやすいトラブルや危険性、フィルタリングの必要性について理解を深める。
・「自画撮り」被害や「闇バイト」など、SNSを介した犯罪やトラブルの事例を通じて、子どもたちがSNSを利用する際の基本的な注意点や、家庭でのルールづくりについて学ぶ。

実施期間　2026年６月１日(月)から2027年３月12日(金)まで
講座形式　出張講座又はオンライン講座
対 象 者　保護者、教職員、児童・生徒、その他子どもたちを見守る立場にある大人　等
受講費用　無料

■申込みWEB ページ

https://netmoral.pref.aichi.jp（右の二次元コードからアクセスできます。）

■問い合わせ先

ネットモラル塾事務局：県委託先(スターキャット株式会社)
講座専用電話：052-774-5170（月～金 午前10時～午後５時 ※祝日・お盆・年末年始を除く）

子ども・若者未来会議を開催します

子ども・若者の意見表明の機会を設け、社会形成への参画を促し、未来をつくる子ども・若者の活躍の後押しを図るため、７月・８月に開催した「子ども・若者ゼミナール」の代表者(高校生)が、課題と解決策について話し合った内容を発表するとともに、グローバル社会や地域社会で活躍する青少年団体等の代表者を交えたパネルディスカッションをとおして、子ども・若者目線の主張や自らの未来を切り拓くための決意を取りまとめます。

開催日時　2026年12月５日(土)午後１時～４時(開場　午後0時30分)
会　　場　STATION Ai　１階イベントスペース(名古屋市昭和区鶴舞１－２－32)
参加募集　どなたでも参加可能 定員200名(参加無料、事前申込制・先着順)を予定
参加申込は10月下旬開始予定。県民会議参加機関・団体には参加者募集ちらしを送付するとともに、社会活動推進課Web ページからも申込可能。

編集発行　愛知県青少年育成県民会議(事務局)愛知県県民文化局県民生活部社会活動推進課　名古屋市中区三の丸三丁目1番2号　℡(052)954-6175(ダイヤルイン)
年２回発行　ホームページ　https://www.pref.aichi.jp/site/syakaikatsudo-kenminkaigi/　メールアドレス　syakaikatsudo@pref.aichi.lg.jp